

行程時間：60分 距離：約1.5km

1 舞妓さんお気に入りコース

宮川町

四条通の鴨川南は、毎年、祇園社の神輿が行われていることから宮川と呼ばれる。宮川筋の石畳と京町家が連なる町並みは、京情緒をふんだんに醸し出しており、舞妓が芸を学ぶ東山女子学園に行き交う姿も見られる。また、宮川町歌舞練場で、毎年4月には、「京おどり」が行われる。

花見小路

紅格子に犬矢来、軒下の赤い提灯など、お茶屋や料亭の京町家のたたずまいと石畳が続く街並みは、昼夜を問わず、また国の内外を問わず常に多くの人々を魅了している。祇園の代表的な景観である。少し脇の道に足を踏み入ると、花見小路通は車の往来が少なく、静寂なたたずまいを醸し出している。

祇園甲部

歌舞練場においては、毎年4月には「ヨイヤーマーサー」の掛け声とともに春の到来を告げる古都の風物詩「都をどり」など、あでやかな京町家が披露される。また、隣の弥栄会館にはギンコーガーがあり、舞妓による、京舞を始め、華道・茶道など、日本が誇る七つの伝統芸能を鑑賞できる。

四条通

八坂神社から、西は松尾大社まで続く市内の中心道。通の沿道には、花見小路南東角の老舗茶屋「一力亭」をはじめ、櫛・かんざし・花名刺などの和装小物店や飲食店、銘菓店が数多くある。四条切通し北西角の「切通し進々堂」は、かつて芸妓が唯一通うことが許された喫茶店で、芸妓舞が命名したメニューがある。

辰巳大明神

祇園の人々の信仰厚く、特に芸妓からは芸の上達の信仰を集めている。この御祭は、国の重要伝統的建造物群保存地区に指定されており、美しい白川の流れ、市電の敷石を使った石畳、紅格子の町家風情が京情緒を存分に醸し出している。また、春には枝垂れ桜が咲き誇り、大勢の見物客で賑わう。

車いす散策のチェックポイント！

- コース全体「坂道なし」**
全コース中、唯一ほぼ坂のない嬉しいコースです。
- 大和大路通「電柱と車」**
道幅が狭い箇所があり、車もよく通ります。歩道内に電柱がありますのでご注意ください。
- 花見小路通「人と車の往来」**
人と車の往来が多いです。一本西の通は、人と車の往来が少いので、風景がありますよ。
- 四条通「対向者」**
土日や観光シーズンは大変混雑しますのでご注意ください。
- 辰巳神社手前「辰巳橋」**
切り通しを北へ行くと、辰巳神社へ続く辰巳橋が、幅が狭いので、ご注意ください。
- 辰巳神社付近「凸凹の石畳」**
石畳に凸凹があり、車の往来も多いのでご注意ください。

コース企画者のコラム

京都を訪れる観光客の一番のお目当てを御存知ですか？
神社仏閣、京懷石・歴史探案など、色々想像ができますが、舞妓さんも、やはりそのお目当ての一つとしては上位に挙げられます。
このコースは、舞妓さんゆかりの地を中心に作成しました。このコースの中でも、宮川町独特の雰囲気は格別です。舞妓さんの姿を見かけることが珍しくなく、舞妓さんが「お姉さん、こんにちわ」とお隣さんに挨拶している様子を近くで車いすから見上げたときは、なにやらドキドキしてしまいました。お茶屋さんなどの風情のある建物も見応え。
しかし、宮川町は舞妓さんたちの居住区。お静かに観光をお楽しみください。
また、宮川町には東山女子学園があります。ここでは毎日、芸妓さんを目指す女性たちが日本舞踊や三味線や歌を習います。一般的にイメージされる華やかで美しい舞妓さんだけでなく、夢に向かって努力を続ける舞妓さんも知っていただきたいと思います。

2 東山開運コース

六道珍皇寺

弘法大師の師・摩喩が開いたお寺。あの世とこの世の境目があるといわれ、お盆の精霊迎え「六道まいり」で有名な。薬師堂には本尊薬師如来坐像を祀り、閻魔堂（閻堂）には氣迫に満ちた閻魔王大像と夜は冥府の閻魔王に仕えたという小野篁像を安置し、冥界への入口と伝わる「冥土通いの井戸」が庭に残る。

六波羅蜜寺

空也上人により開創された西国第七番の札所。平安後期には、広大な領域内に権勢を誇る平家一門の邸館が栄え、また鎌倉時代には六波羅探題が置かれた。空也上人や平清盛の像など、藤原・鎌倉期の優れた彫刻が多数安置されている。生年月日と性別で四柱推命をもとにして一年の運勢を占う「開運推命おみくじ」が評判。

禅居庵

建仁寺の塔頭。七頭の猪に座した開運と勝利の神である摩利支天を本尊として祀る。摩利支天は、サンクリット語で降災を意味する音を漢字に写したものである。実体がない降災は、捕らえられて傷つけられることが無いため、戦国武将前田利家など、武将の間に摩利支天信仰が広がった。境内には、猪の像が多数ある。

京都ゑびす神社

京都ゑびす神社は西宮・大阪今宮神社と並んで日本三大ゑびすと称され、「えべっさん」の名で親しまれている。その起源は、栄西禪師が建仁寺の鎮守として最初に建てた。毎年1月8日から5日間にわたり「十日ゑびす」が行われ、商売繁昌・家運隆昌を願う人々で賑わう。

安井金比羅宮

主祭神の崇徳天皇が、讃岐の金刀比羅宮でいっさいの袂を断ち切りおこもりされたことから、断ち物の祈願所と信仰されている。形代(かたしろ)と呼ばれる身代わりのお札に願い事を書き、境内の縁切り縁結びの穴を表から裏へ、裏から表へ通うことで縁縁を切り良縁を結び、最後に形代を碑に貼って祈願する。

車いす散策のチェックポイント！

- 六道珍皇寺「南門、石畳の坂」**
出入口の南門は少し傾斜のある石畳の短い坂です。雨の日は滑りやすいのでご注意ください。
- 六道珍皇寺「冥土通いの井戸」**
南門から入り、本堂右に階段があります。戸板に井戸の写真が掲示してありますので安心です。
- 六道珍皇寺「石畳の継ぎ目」**
境内の石畳と石畳の継ぎ目に溝がありますので、前輪を溝に挟まないようご注意ください。
- 六波羅蜜寺「開運推命おみくじ」**
開運推命おみくじは、階段があるため、同行者にお願いしましょう。
- ゑびす神社「なだらかな境内」**
境内はほぼ平坦で移動が容易です。二の鳥居上部の福熊手にお賽銭を投げ入れて願いを叶えましょう。
- 禅居庵「狛猪」**
禅居庵には狛犬だけでなく、狛猪が。猪のあごを下から見上げると、思わず笑みがこぼれます。

コース企画者のコラム

今ではお気に入りのこのコースですが、当初まわっていたときは観光客もそれ程多くなく、なんとなく素通りしてしまいうような場所がたくさんありました。
しかし、その後必ず屋さんに歴史の裏話や寺院にまつわるお話を教えてもらううちに、六道珍皇寺、六波羅蜜寺、禅居庵など、私たちが驚かすような場所がどんどん増えていったのです。何の知識もなく訪れてしまうと、そこに秘められた魅力に気づくことができません。このコースの探索で、私たちは、「本堂の観光」の面白さを学ぶことができました。
東山の観光客の多くの方がリピーターだそうす。もしかすると、その理由は訪れる度に出会う感動や発見、掘っても尽きない裏話や逸話のおかげかもしれません。私たちは車いすの方にもそんな東山をもっと知って、楽しんでいただきたいと思います。
このコースでは寺社仏閣にまつわるエピソードの他に、車いすに乗ったまま触れられる見どころもたくさんありました。六波羅蜜寺の一願石、えびす神社の叩き戸、松原通を彩る商店。コースをまわるごとに増えていく楽しみに、車いす観光の楽しいイメージがどんどん膨らんできました。

行程時間：60分 距離：約1km

3 京の伝統・清水焼コース

清水五条陶板の散歩道

五条坂周辺は、多くの陶工や陶器問屋が集まる陶器の町として栄え、多くの陶芸作家が活躍し、問屋や小売店などで賑わう。五条通（川端〜東大路間）の電線地中化により設置した地上機器の上に、地元陶芸家などが「本物に触れてほしい」との思いから特別に製作した陶板を飾った散歩道である。

若宮八幡宮

源頼義の創建で、源氏や足利氏の信仰が篤かった。足利尊氏が平癒に感謝し、献じたという蓬萊石や二本の木が一本に結ばれた縁結び家内安全の御神木が本殿前にある。狛犬は陶器製で諏訪麻山の作。入口鳥居横の石碑は、清水六兵衛が揮毫。五条坂一帯で8月に開催される陶器まつりは当社の祭礼。

五条坂を彩る多くの陶器店

清水焼は、清水坂・五条坂付近で生産される陶磁器の総称。製品は、茶器・食器・花器などで、清雅優美なもの。五条坂は、清水焼発祥の地として、多くの名陶工が活躍した。現在も陶芸作家や小売店など、多数軒を連ねる。店先には清水焼を飾り、高い芸術性を訴え、道行く人々を魅了している。

陶器製の看板・表札等

五条通周辺では、陶器製の看板や表札、ポストがあるなど、日々の暮らしの中にも陶磁器の産地らしい特色が現れている。また、京扇子や数珠、竹細工など、清水焼以外の伝統工芸品も発達しており、店先には、質が高く美しい伝統工芸品が並び、飾られ、道行く人を魅了している。

鐘鑄町(河井寛次郎記念館周辺)

町名は、方広寺の造営の際に大仏殿の鐘を鑄造した鐘物場があったことにちなんでいる。現在は、陶芸作家など陶磁器に関係する職人が多く住み、河井寛次郎記念館をはじめ、鐘の形をした窓を有する町家や歴史的意匠建造物に指定された町家などが織り成す落ち着いたたたずまいが魅力的である。

車いす散策のチェックポイント！

- コース全体「ほぼ振動なし」**
コースは全体的に凸凹がほぼありません。
- 五条坂「ゆるやかに続く長い坂」**
五条坂は、ゆるやかな坂道です。
- 五条坂「陶板の散歩道」**
陶板は、視線より若干高めに設置。でも座ったままでも見られますよ。
- 若宮八幡宮「本殿へつづく階段」**
本殿へ上るにはスロープがありますのでご注意ください。
- 五条坂「ウインドウショッピング」**
陶器店の店先には、作品が車いすから見やすい高さに飾ってあります。
- 鐘鑄町付近「車の往来」**
入り組んだ路地が多く、見通しが悪いので、車の往来にはご注意ください。

コース企画者のコラム

私たちは、陶板の散歩道のことを知り、清水焼についてお話を聞いたり見たりして調べているうちに、「伝統産業のまち東山」の姿が見えてきました。有名寺院や祇園といった定番の東山以外にも、まだこんな隠れた見どころがあったのかと目からウロコの思いでした。実際にコースをまわってみると、たくさんの喜びを発見できたので。
また、探せば探すほど清水焼にちなんだスポットが見つかったこと、さらに陶器店の「陶点晴かわさき」を訪れた際に御夫婦が温かく迎えてくれたこと、私たちが五条を、そして清水焼が好きになるのに時間はかかりませんでした。
毎年8月の7日から10日まで、五条坂で「陶器まつり」が催されます。ここではたくさんの観光客が訪れ、清水焼やそれ以外の全国の焼物が集まるそうです。ゆっくりと陶板の散歩道を味わうのも良いですが、賑やかで活気のある「陶器まつり」の五条坂の姿も一目見たいと思います。

行程時間：60分 距離：約1km

5 東山ぜいたくコース

法観寺(八坂の塔)

聖徳太子が四天王寺の建立用材を求めやっていたところ、夢で観音様のお告げがあり建立したという。焼失・再興を繰り返し、足利義政に再建された五重塔のほか、太子堂・薬師堂などを残すのみとなった。飛鳥時代の礎石の上に立つ塔は、東山の景観のシンボルともされる。

石堀小路

下河原通から「ねねの道」に通じる石畳の小路で、大正初期に誕生した。石堀が連なるように見えることが名前の由来といわれる。お茶屋、料亭や旅館などが多く立ち並び、明治に廃絶した下河原遊郭の名残。著名な芸能人や歌舞伎役者などが多く集まったといわれている。

ねねの道

清水寺から産寧坂、二年坂を経て、豊臣秀吉の正室北政所（ねね）が創建した高台寺の西側から円山公園までの道が整備され、「ねねの道」と呼ばれている。この道は、その名にちなみ、この地で余生を送った北政所が歩いた道。一年中多くの観光客が訪れ、賑わいをみせている。

大雲院

織田信長・信忠父子の菩提を弔うため、貞安上人が烏丸二条で開山した。その後、豊臣秀吉の命で寺町四条に移転し、第1回京都市会が開会されたが、昭和47年に現在地へ移転した。山鉦を模した祇園囃子、大倉財閥の大倉喜八郎が別荘として建てたものである。

知恩院三門

徳川秀忠の命を受け、建立された。高さ24メートル、横幅50メートル、屋根瓦約7万枚。その構造・規模において、わが国で現存する木造建築物として最大の二重門。「華頂山」の額は、大きさは畳2畳以上。「三門」は、悟りに通ずる三つの解脱の境地を表す門を意味する。

車いす散策のチェックポイント！

- 八坂の塔周辺「石畳と車」**
石畳の凸凹があり、道幅が狭いですが、車の往来が多いのでご注意ください。
- ねねの道「人と車の往来」**
人と車の往来が多いです。また、歩道脇には溝がある箇所もあるので、気を付けて。
- 長楽館「館南の交差点の石畳」**
三門付近はタクシーや観光バスなどの車の往来があるのでご注意ください。
- 長楽館付近「車止め」**
車止めがありますが、通れます。
- 円山公園北門⇒三門へ続く道「車止め」**
車止めがありますが、通れます。
- 知恩院「三門付近の車の往来」**
三門付近はタクシーや観光バスなどの車の往来があるのでご注意ください。

コース企画者のコラム

誰もが知っている東山が集結した「東山ぜいたくコース」。東山の象徴的な景観の1つである「法観寺（八坂の塔）」に始まり、「石堀小路」には、石畳に廃止された京都市電の敷石が使用されています。凸凹のある地面を進む際は、半世紀前の京都の交通を支えた市電に思いを馳せてみては。
また、石堀小路から「ねねの道」に入りますが、一度ねねの道を南に振り返ってみると、遠目に八坂の塔が見え、ねねの道と相まって織り成す風景は、より趣が増します。更に、「大雲院」の祇園囃子、円山公園を巡って、「知恩院三門」と見所が続きます。
見所以外にも、ねねの道界隈の「東山路傍の触れ仏」や大雲院東側の「芭蕉堂」や「西行庵」、「円山公園音楽堂」など、様々なスポットがあり、多目的・トイレも高台寺公園・知恩院三門付近にあるなど、まさに東山を満喫できるコースです。

行程時間：60分 距離：約1km

4 東山緑の散歩道コース

八坂神社

「祇園さん」と親しまれ、厄除け、商売繁盛に御利益があるとされている大社。火焼をくぐるくると回す「をら詣り」は京都のお正月を代表する風物詩。京都の夏の彩る祇園祭は当社の祭礼。末社の一つ的美御前社では、身も心も美しくなるという「美容水」が湧き出る。

円山公園

市内最古の公園で、国の名勝。地元住民や多くの観光客が訪れ、安らぎと憩いの場になっている。庭園の池泉や枝垂れ桜が有名。春の花見時期には、多くの行楽客で賑わう。その他園内には、祇園山鉦館、坂本龍馬・中岡慎太郎像、ラジオ塔などがある。

長楽館

明治の「煙草王」の村井吉兵衛の別邸跡で、設計者はアメリカ人のガーディナー。長楽館の命名は、伊藤博文。英園殿下や米国王大富豪など、国内外の要人をもてなした。築100年を超え、内外装とも豪華な造りで数々の華やかなコレクションを収蔵している。

安養寺

桓武天皇が平安京に遷都された際に、都を鎮守する寺として、伝教大師（最澄）が創建。また、法然上人が比叡山を下り、吉寺で開かれた草庵の一つでもある。天台宗が始まりで、現在は時宗。円山山の名は、当時の山号である慈円山に由来している。

知恩院大鐘楼

方広寺、東大寺と並び大鐘。高さ3.3メートル、口径2.8メートル、重さ約70トン。この大鐘が鳴らされるのは法然上人の御忌大会（4月）と大晦日の除夜の鐘、成人式（1月）の折だけ。とりわけ除夜の鐘は17人でつき。鐘の冬の風物詩となっている。

車いす散策のチェックポイント！

- 美御前社の「美容水」**
車いすに乗ったままでは届きません。身を乗り出して水に触れるときは気を付けて。
- 美御前社横の鳥居「車両通行用スロープ」**
スロープの幅が狭いので、はみ出さないよう慎重に進んでください。
- 八坂神社→枝垂れ桜「車止め」**
車止めがありますが、通れます。
- 長楽館→大鐘楼「急な坂道」**
長距離なうえ、急な傾斜もあるためかなり体力が必要です。
- 大鐘楼手前の坂「滑り止め敷石」**
大鐘楼の手前に短く急な坂があります。地面には滑り止めの敷石があり、押し手助けがおすすめです。
- 大鐘楼「砂利道」**
砂利の少ない場所を選び、車輪がとられないように慎重に。

コース企画者のコラム

人口147万人を有する大都市京都。その観光地には、なんとなく車いすでの観光が不便というイメージ抱いてしまいがちです。
しかし、このコースの長楽館から知恩院大鐘楼まで続く道は、観光のプロのえびす屋さん曰く、「京都で唯一、人ごみを避けて紅葉を楽しむ場所」なのだとか。実際に足を入ると、その情景に思わず息を飲まされた。京都で自然を楽しむとなると、嵐山などが有名ですが、シーズンには人の海。ここでゆっくりと桜や紅葉を楽しんでいると、なんだか得した気分になります。坂の行きと帰りは見違える景色が変わりますので、様々な発見があるでしょう。
このコースでは、緑を堪能できることは別に、人の混み合いをおもてなしを受けることもできました。車いすに乗りながら長楽館を眺めていると、館内の店員さんが私たちに声をかけ、館を案内してくれたのです。車いすの方の介助をしてくれるようなので、安心して食事や休憩ができます。

行程時間：60分 距離：約1.3km

清水寺一周コース

国の内外を問わず、京都で最も多くの方が訪れる清水寺。スロープや多目的トイレの設置、車いすで境内を一周参拝できるルートなど、境内のバリアフリー化が進んでいます。

<清水寺へのアクセス>

本堂拝観入口付近までタクシー等でアクセスできますので、必ず事前に寺務所へ連絡を(TEL075-551-1234)。茶わな坂を上りインターホン（矢印）で連絡すれば、境内に入れます。

<音羽の滝周辺のバリアフリー化>

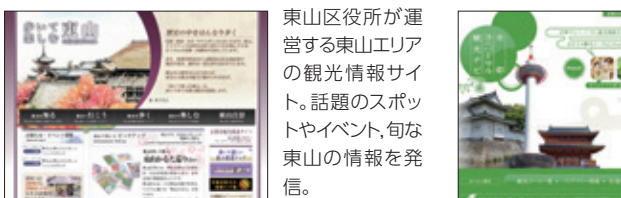
音羽の滝付近にスロープが設置され、滝の水を汲むことや境内を車いす一周できます。

赤い線の順路で境内を一周することが可能です。坂道に気を付けてください。



東山散策お役立ちサイト

歩いて楽しむ東山
http://higashiyama-kanko.jp/



京都ユニバーサル観光ナビ
http://www.kyoto-universal.jp/



市周辺で車を停めて、公共交通に乗り換えるパークアンドライド情報やお得な東車切符情報も豊富